



新石川県立図書館建物見学ツアー (愛称:百万石ビブリオバウム)

令和4年3月

移転の概要

旧石川県立図書館(本多町)

昭和41年に開館以来、県民への図書館サービスと
県内市町村図書館の振興に努める
建物の老朽化等に伴い、移転整備が決定

新石川県立図書館(小立野)

平成28年度	基本構想
平成29・30年度	基本設計・実施設計
令和元年10月	起工
令和3年12月	建物本体の完成
令和4年7月16日(土)	開館予定



(昭和41年4月に開館した石川県立図書館)

【基本コンセプト】

県民の多様な文化活動・文化交流の場として、
県民に開かれた「文化立県・石川」の新たな“知の殿堂”

建物等概要

敷地面積 約33,000m²

建築面積 約 6,000m² 地上3階(一部4階)地下1階

延べ面積 約22,000m² 高さ15m

開架冊数 約30万冊 (現約11万冊)

書庫収蔵能力 約200万冊 (現約75万冊)

閲覧席 約500席 (現73席)

駐車台数 約400台 (現32台)

こどもエリア 約2,000m² (従来の10倍)

文化交流エリアを整備

屋内広場、だんだん広場、モノづくり体験スペース、研修室、ラーニングスペース(自習コーナー)等

建物配置

中央に建物を配置し、その周囲を緑地で包まれた駐車場が取り囲み、周辺の景観に配慮しています。



正面の屋外広場は桜の木の広場となっています。
建物正面は凛とした構えを持つ構成です。

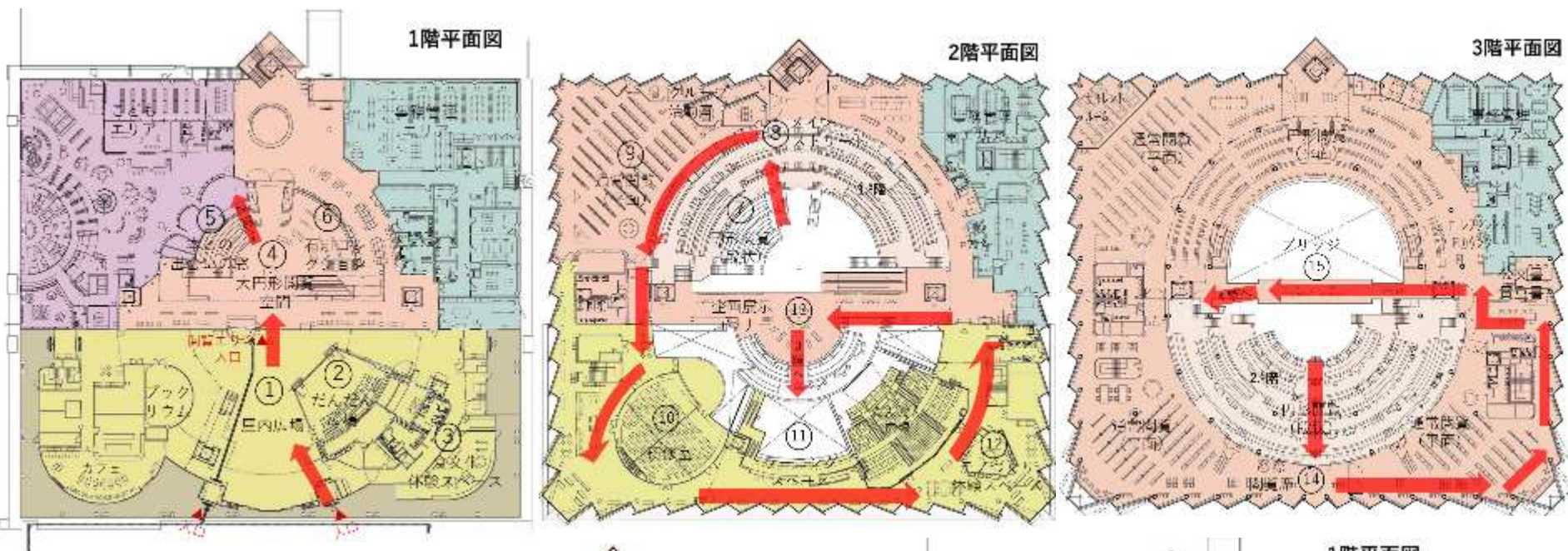


外観

外観は、石川の原風景から色を抽出し、大地のブラウンと自然の緑である落ち着いたグリーンをタイルとしてまとめ、伝統的な市松模様にしたタイル貼りのパネルとガラスとが交互に折り重なり、『本のページをめくる』イメージとしています。



館内平面図(ツアールート)



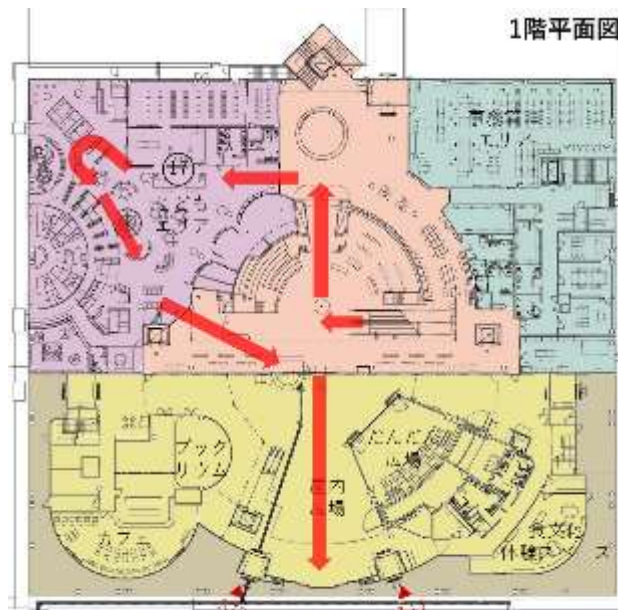
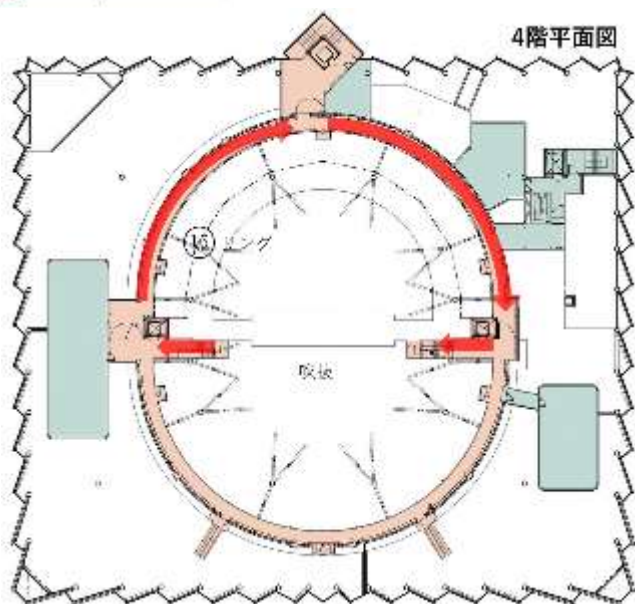
<凡例>

閲覧エリア

文化交流エリア

こどもエリア

事務管理エリア



①-1 屋内広場

正面入口を入った屋内広場は、屋外広場と一体として利用が可能で、イベントや各種展示、催し物の会場としての利用を期待しているほか、通常はこの建物全体のエントランスホールや待合いとしての役割を担います。天井は同心円状に中心へ連なっていく構造です。



奥に進むと、
図書館入口と案内カウン
ターがあり、その両脇は
透明なガラス壁で区切ら
れています。

①ー2 伝統的工芸品の活用

屋内広場の壁面には、文化勲章受章者・芸術院会員・重要無形文化財保持者（人間国宝）といった、まさに本県を代表する名匠達の作品を展示。ユネスコの無形文化遺産に登録された縁付金箔が彩りを添えます。



- ①前 史雄（輪島塗：人間国宝）
- ③中野 孝一（金沢漆器：人間国宝）
- ⑤山岸 一男（輪島塗：人間国宝）
- ⑦小森 邦衛（輪島塗：人間国宝）

- ②吉田 美統（九谷焼：人間国宝）
- ④川北 良造（山中漆器：人間国宝）
- ⑥武腰 敏昭（九谷焼：日本芸術院会員）【遺作】
- ⑧大樋 陶冶斎（文化勲章）

②だんだん広場（収容約160人）

屋内広場に隣接して、オープンな階段状の広場があります。間仕切ると講習会や研修会、上映会にも活用できます。普段は休憩や読書などに自由に利用できる「休憩スペース」として開放します。



広場の上部にはテーブルが36席用意されており、自習などに利用できます。

③食文化体験スペース

建物正面右側には「食文化体験スペース」があります。
キッチンを備えたイベントスペースで、食に関するイベントはもちろん、その他のイベントにも活用できます。



発酵食や和菓子など、本県特有の伝統的な食文化を学ぶワークショップを開催予定。
イベントがないときは自由にくつろげるスペースとして開放します。

④大円形閲覧空間

図書館入口を入ると、吹き抜けを多くの書架が取り囲む円形劇場のような大閲覧空間が広がります。円形の書架には、利用者の関心の高い12のテーマごとに図書を配置。館内をめぐり歩き、思いがけない本との出会いを楽しむことができます。



方角ごとにゾーン分けし、加賀五彩を用いて分かりやすい案内としています。

(東：草、西：黄土、
南：臙脂、北：古代紫)



⑤本との出会いの窓

大円形閲覧空間の中央左側（西）には、窓の形をした書架やデジタルウィンドウに、石川コレクションをのぞく11のテーマの魅力を凝縮して紹介するコーナーを設けています。



普段本を読まない人や何気なく図書館を訪れた人に、本や図書館の魅力に気付いてもらうコーナーです。

⑥里の恵み・文化の香り ～石川コレクション～

大円形閲覧空間の中央右側（東）は、12のテーマのひとつである、石川県が誇る多彩な「伝統文化」と「里山里海・生物多様性」をテーマとした図書や資料を紹介し、これまで知らなかった石川の魅力に気付いて頂けるコーナーです。



図書以外に工芸品や民具なども展示します。

デジタル書架では、気になる写真やキーワードから一人一人の興味にあった図書を紹介します。

⑦閲覧エリア（円形閲覧空間）

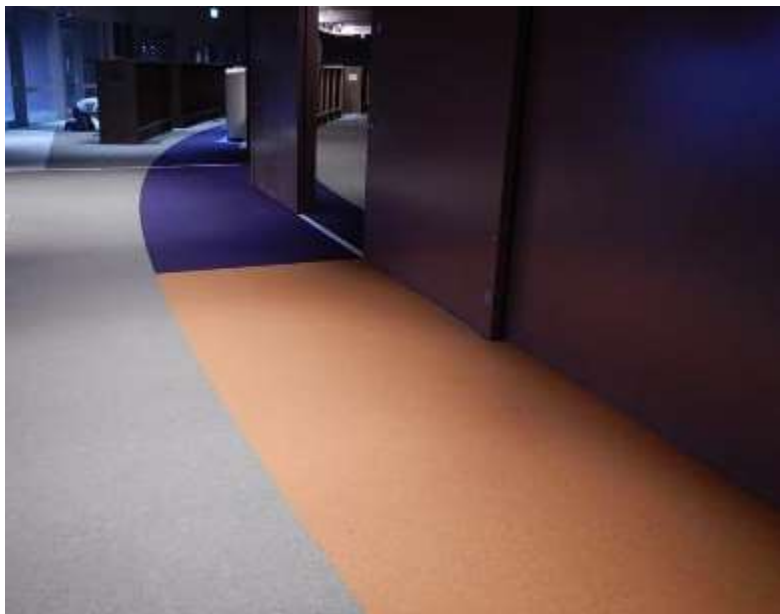
中央の円形閲覧空間は、テーマ別におすすめの図書が並んでいて、緩やかなスロープで繋がりが、車椅子やベビーカーなどもアプローチしやすいように配慮されています。



閲覧空間には多種多様な座席を設け、どこにいても本に囲まれている雰囲気を楽しむことができます。

⑧ 閲覧エリア（メインストリート）

円形ホールの外側には、円形ホールを取り囲むようにメインストリートを配置し、エリアを東西南北に分けて加賀五彩をテーマカラーとして区分しています。このメインストリートを介して、それぞれのエリアへ容易にアクセスできます。



北：古代紫（こだいむらさき）

西：黄土（おうど）



東：草（くさ）

南：臙脂（えんじ）

⑨閲覧エリア（平面閲覧空間）

メインストリートの外側は、図書館の分類別に本棚が並びます。



⑩研修室

文化交流エリアの2階西側には約200名収容の研修室があります。間仕切ることにより4室に分けることができ、小会議から多人数の研修会などに利用することができます。



⑪ラーニングスペース

研修室に隣接するラーニングスペースには、テーブル、ベンチなどが用意され、学習や読書などの自習席として、またデスクワークや待ち合わせ、簡単な打合せなど多様な活用が期待できます。

Wi-Fiも完備しています。（館内全域で対応）



壁面には様々な展示を行うことができます。

⑫モノづくり体験スペース

文化交流エリアの2階東側には、3Dプリンタやレーザーカッターを設置したモノづくり体験スペースがあり、本から得た知識やデザインをもとにその場でモノづくり体験ができるイベントを開催する予定です。

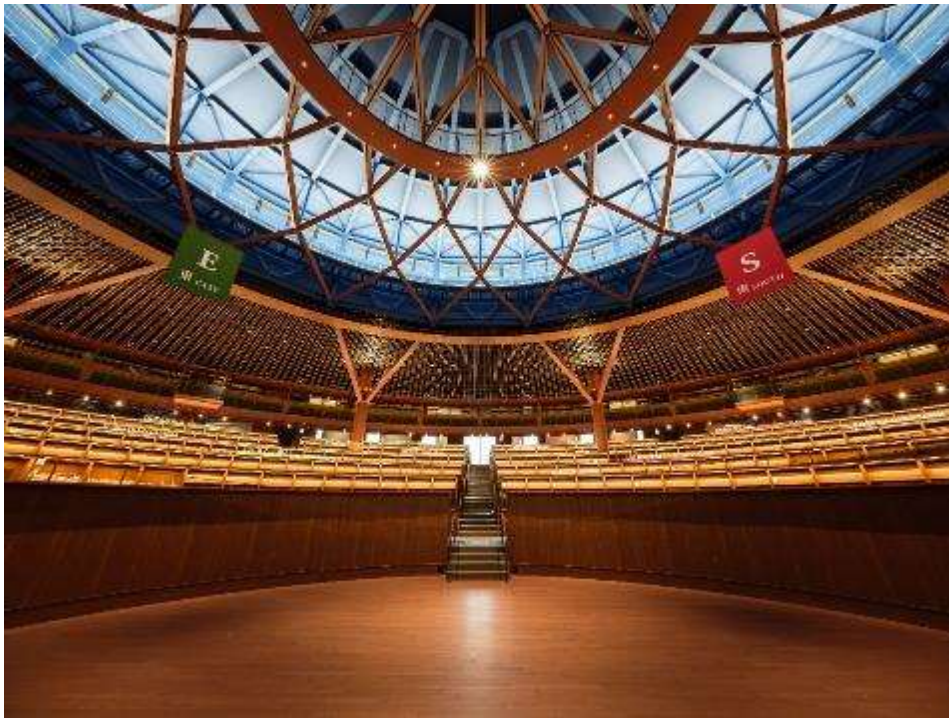


⑬企画展示スペース

大円形閲覧2階の中央には、時々のテーマに応じた様々な魅力ある企画展示を行うスペースがあります。

展示がない時は、休憩スペースとして使用できます。

開館時には記念イベントとして国立科学博物館と連携した展示を行う予定です。



⑭窓際閲覧席

書架エリアの窓際には、屋外の景色を感じながら利用できる落ち着いたパーソナルユーズな閲覧席を設けています。



伝統工芸を展示する
ショーケースも設けています。



⑮ブリッジ

3階中央部に架かるブリッジからは全体を360度見渡すことができます。図書や雑誌、椅子を配置し、ダイナミックな吹き抜け空間を眺めながらゆっくりと過ごせる特別な読書空間です。



中央吹き抜け上部の
トップサイドライトから
は、柔らかな光が差し
込み、館内に心地良
い明るさをもたらしま
す。

⑩リング

円形閲覧上部には1周約160mの回廊式の閲覧空間を大胆に配置しました。大閲覧空間を一望できる絶好のビューポイントとなります。



各所にソファなどの閲覧席も設けています。

⑰こどもエリア

1階奥には、屋内外あわせるとこれまでの約10倍のスペースを確保した「こどもエリア」を配置しています。乳幼児から低学年、高学年までのスペースを緩やかにゾーン分けしています。



変化に富んだ形状の書架・家具を配置するなど、こどもたちが体を動かして遊ぶことができる「遊び場」のような空間です。

“思いもよらない本との出会いや体験によって
人生の1ページをめくることができる場所”

新石川県立図書館

◇愛称「百万石ビブリオバウム」

本県の代名詞である「百万石」と「図書」を意味するイタリア語「ビブリオ」、
「木」を意味するドイツ語「バウム」を用い、「木」の温もりのある空間と、
大閲覧空間を巡って、様々な本や人・物・情報などと出会うことで、
県民の「成長」を後押しし、「進化」を続ける図書館であってほしいという
期待を込めて名付けました。

◇開閉館時間・休館日・駐車場について

開閉館時間	【閲覧エリア】 平日 9:00～19:00 土日祝 9:00～18:00 【文化交流エリア】 平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
休館日	毎週月曜日、年末年始、特別整理期間
駐車料金	入庫後30分無料、以降30分ごとに100円を徴収 図書館利用者は3時間無料

令和4年7月16日(土)開館！

現在、外構工事や引越作業、館内機器の調整など、開館に向け、鋭意準備を進めています。

開館の暁には、ぜひお越してください！